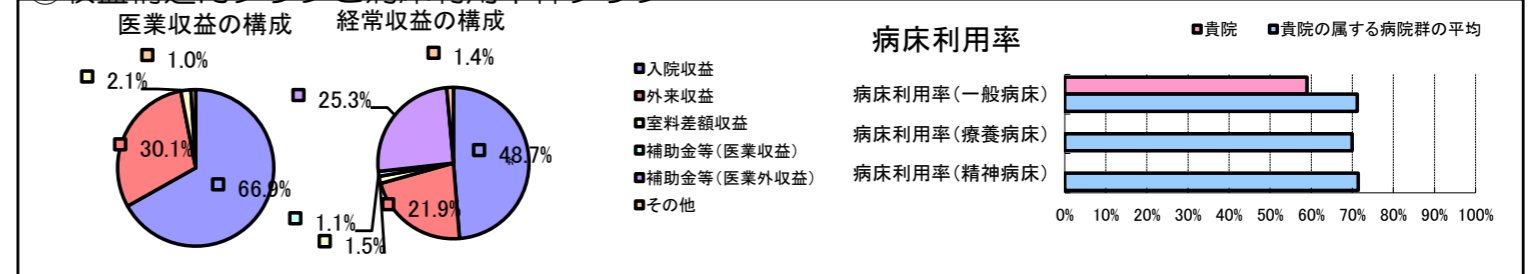


①病院環境データ

病院名 (大阪市)十三市民病院(2008年)
 病床数 【一般病床】280床【療養病床】0床【結核病床】0床【精神病床】0床【感染症病床】0床
 患者数 【1日平均入院患者数】165人【1日平均外来患者数】582人【推計退院患者数】4,461人
 医療従事者数 【医師数】31人【看護人員数】140人【医療技術員数】17人【事務職員数】13人
 市区町村データ 大阪市
 【人口総数】2,628,811人【65歳以上人口】529,692人【高齢化率】20.1%
 【可住地当たり人口密度】11,825.5人/km²【可住地面積】222.3km²
 【一般病院数】194施設【一般診療所数】3,415施設【医師数】8,356人

⑥収益構造円グラフと病床利用率棒グラフ



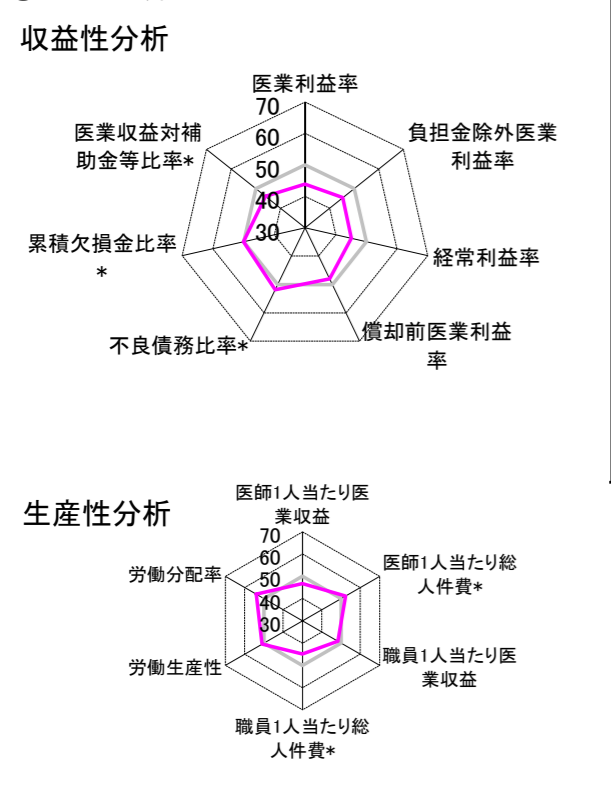
②病院群類型と経営指標ハイライト

【貴院の属する病院類型】都市非大規模病院グループ(可住地当たり人口密度2,145.9人/km²以上かつ、一般病床500床以上)
 【高い偏差値を示す指標】流動資産回転率
 【低い偏差値を示す指標】1床当たり剰余金・欠損金額

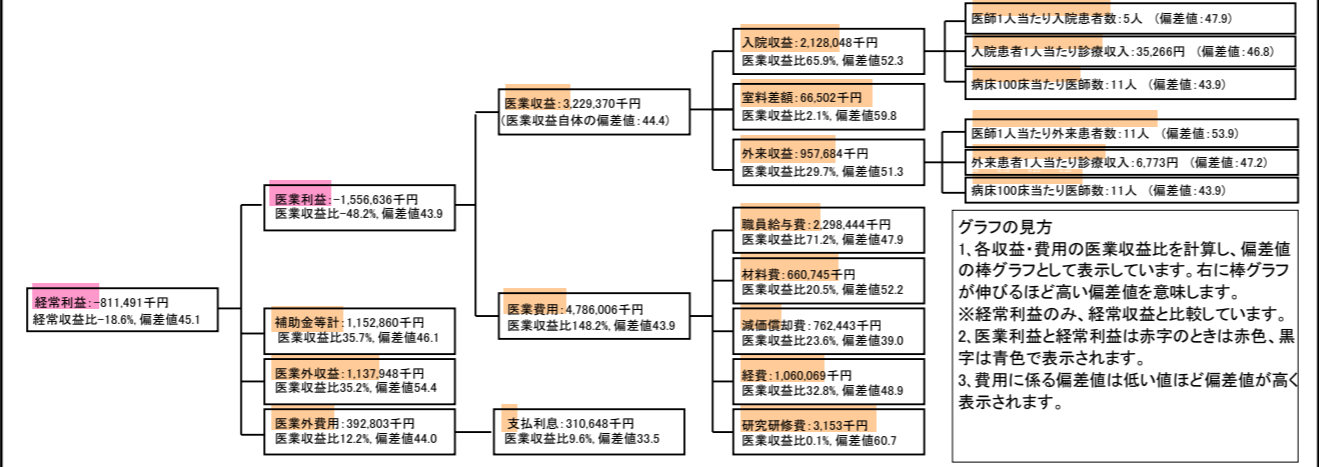
⑦経営指標分析(平均値・参照値・偏差値)

収益性分析	貴院	貴院の属する病院群の平均	偏差値
医療利益率	-48.2%	-29.2%	43.9
負担金除外医療利益率	-49.6%	-34.2%	45.3
経常利益率	-18.6%	-10.7%	45.1
償却前医療利益率	-24.6%	-19.0%	48.1
不良債務比率*	8.9%	11.8%	51.9
累積欠損金比率*	90.8%	91.5%	50.1
医療収益対補助金等比率*	71.4%	51.4%	46.1
経常収支比率	84.3%	91.8%	42.9
生産性分析			
医師1人当たり医療収益	104,173千円	129,553千円	46.8
医師1人当たり総人件費*	74,143千円	82,509千円	52.3
職員1人当たり医療収益	14,951千円	91,562千円	48.3
職員1人当たり総人件費*	10,641千円	9,761千円	44.9
労働生産性	344,889千円	-256,148千円	50.9
労働分配率	308.5%	145.2%	53.9
機能性分析			
入院患者1人1日当たり診療収入	35,266円	40,594円	46.8
外来患者1人1日当たり診療収入	6,773円	12,198円	47.2
医師1人当たり入院患者数	4.6人	5.2人	47.9
医師1人当たり外来患者数	10.7人	8.9人	53.9
推計退院患者数	4,461.1人	5,071.0人	54.3
平均在院日数*	13.5日	18.0日	54.3
病床100床当たり全職員数	77.1人	116.7人	40.2
病床100床当たり医師数	11.1人	15.6人	43.9
病床100床当たり看護人員数	53.6人	72.4人	41.5
看護人員/医師人数比	4.5人	5.1人	47.9
外来/入院比	234.3%	184.7%	55.9
病床利用率(一般病床)	59.0%	71.2%	42.6
病床利用率(療養病床)	N/A	70.0%	N/A
病床利用率(精神病床)	N/A	71.4%	N/A
安全性の分析			
1床当たり総資産額	319,677千円	195,330千円	52.8
1床当たり剰余金・欠損金額	-104,809千円	-26,199千円	25.0
1床当たり償却資産額(取得価額)	644,457千円	364,672千円	53.5
1床当たり償却資産額(帳簿価額)	455,750千円	244,662千円	53.9
流動比率	68.8%	248.5%	42.1
流動資産回転率	5.2回	3.9回	56.3
医療収益対総資本	1.8倍	13.9倍	44.7

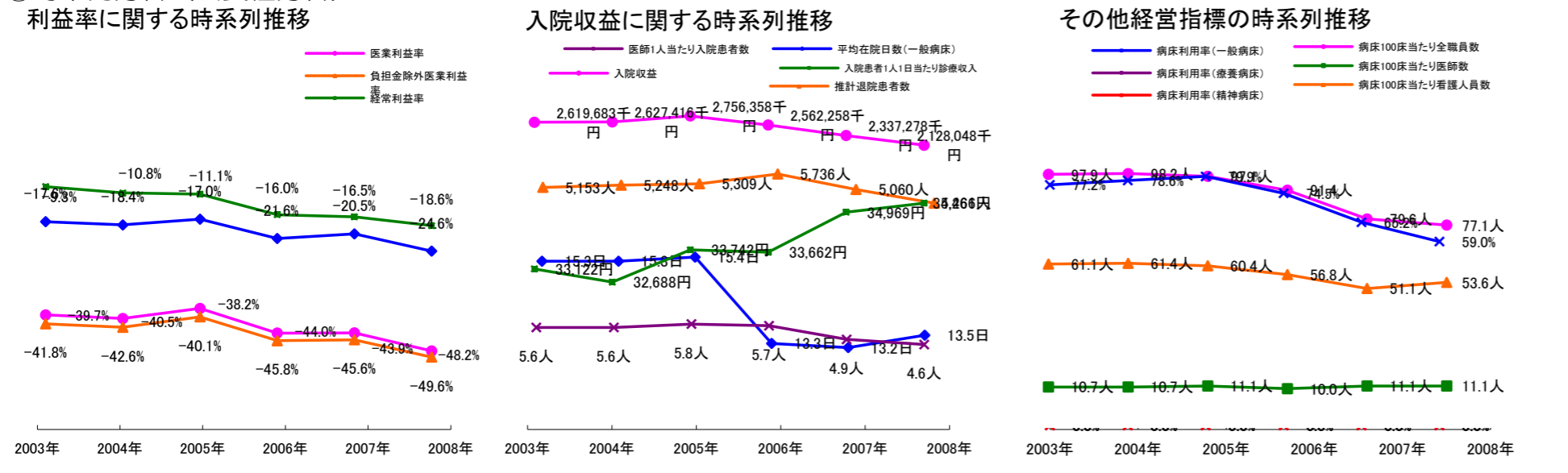
③経営指標のレーダーチャート(偏差値)



④利益構造ツリー(実数・対収益比・偏差値)



⑤時系列分析(成長性分析)



データ源: 公営企業年鑑

©京都大学大学院医学研究科医療経済学分野